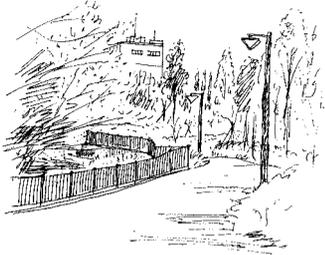


哲学堂公園  
中野区松が丘一丁目にある、中野区立の公園。桜の名所。



# 健友

第3号 2001年3月10日  
発行 医療法人社団健友会  
健友会友の会  
〒164 0001 中野区中野5 44 3  
TEL 03 3387 3051  
FAX 03 3388 1381  
編集 「健友(けんゆう)」編集委員会



上・注射の際に使用する酒精綿は、以前は看護婦が作っていた。いまは密閉容器に入ったものを購入。使う分だけ、蓋つきの容器に移しかえることになった。  
右・手洗い用の水道は自動栓に、石鹸も液体石鹸に変更した。

## 「患者さんとともに医療の安全を…」を合い言葉に

「私の病院は(診療所は)大丈夫?」  
二〇〇〇年七月、セラチア菌による入院患者の死が報道されて以来、医療事故や感染など医療の安全性への関心は急速に高まっています。そこで、健友会の病院・診療所はどうか?中野共立病院・付属診療所の場合を見てみました。

「事故届」をすくなく医療事故の原因のベ

スト4は、第一位・薬剤関連、二位・転倒、三位・指示伝達まちが

い、四位・患者さんまちがい―これは中野共立病院・診療所の「医療安全推進委員会」(99年秋にスタート、委員長は病院長の大山美宏医師)が発表した、二〇〇〇年度事故報告書の統計結果です。

いま、委員会では、即事故届け出用紙「を作り、一二時間以内に報告書に書く習慣をつけること、そして職場こ

とに分析し改善する力をつけること、に総力をあげています。



### 事故を未然に防ぐ工夫が いっぱい

#### 中野共立病院と 付属診療所の奮闘

した。毎日、リハビリに通って牽引やホットパックを受け、ひどい時には注射も「痛くて痛くて、涙が出るほどだった」

が、いまでは昔のようにに踊れそうなくらい「具合がいい」。芝崎さんは実は日本舞踊の先生なのです。「注射が効いたのか、リハビリが効いたのかよくわからないけど、おかげさまで」と、うれしそうに笑います。

そんな芝崎さんに昨年一月、週一回の注射が四日間続いたことがありました。「毎日やっていていいのかなあ」と思いはじめたころ、診療所では

#### 感染防止に努力が

MRSAやセラチア菌、結核菌など、院内で起こる感染症への対策は、九九年二月から「感染委員会」と「感染対策実践チーム」がつくられて活動してい



リハビリ室で牽引中の芝崎さん

この間、実践チーム(責任者―久保智子副総婦長)が改善に着手したことは主として三つ。①消毒薬の変更、②手洗いの変更と徹底、③針刺し防止、です。

酒精綿はアルコール濃度五〇%から七〇%に変更し、作り置きをやめて密閉されたもの

を購入、その日使う分だけ容器に移すことに

しました。手洗いは水道を自動栓に変え、石鹸は消毒薬入りの液体石鹸に。針刺しは患者さんに使用した注射針を看護

「診察所ではリストバンドの替わりになるものを考案中」(野中裕子婦長)とのこと。「患者さんとともに医療の安全を」が、スタッフたちの合い言葉となっ

ています。この間、実践チーム(責任者―久保智子副総婦長)が改善に着手したことは主として三つ。①消毒薬の変更、②手洗いの変更と徹底、③針刺し防止、です。

「不景気でなかなか希望がもてなかつたが、吉田先生のいうように世の中は変わってきている。元気をもらった」などの感想が寄せられました。

### 話題 のひと



信澤さんはことし八〇歳。山が大好きで、長野県の山は知らないところがないほど。竜王スキー場には山荘ももっています。登山、スキー、狩猟とこなします。

#### 山が大好き

かわしん友の会副会長の  
信澤瑞吉郎さん  
(事務局長・染谷 薫)

北滋賀の三日月池周辺の原始のままの水芭蕉を発見したの

は信澤さんで、新聞にも大きく取り上げられたそうです。ことは三月一四から一カ月間、ヒマラヤトレッキングに行く予定とか。

### 友の会、諸団体を招いて

―健友会・東医研が「新春のつどい」

一月一七日、NTT中野クラブで健友会・東医研共催「二〇〇一年新春のつどい」が開かれ、中野・杉並の諸団体の代表、友の会の役員さん、職員など六五名が参加しました。

一月二〇日、「21世紀幕開け」

が開催されました。友の会会員や診療所の元職員など二二〇人を超える人が参加し、たいへん盛大で楽しい「つどい」になりました。

第一部は、坂本所長のあいさつや前足立区長で歯科医師の吉田万三氏による講演。第二部は懇親会で、踊りや歌、津軽三味線などの演奏が行われました。

「不景気でなかなか希望がもてなかつたが、吉田先生のいうように世の中は変わってきている。元気をもらった」などの感想が寄せられました。

### 祝賀会に120人以上が

―沼診50周年を祝うつどい

### 「がんばれ! 国家試験」

―2・3看護婦内定者のつどい

中野共立病院は二月三日、ことし四月入職予定の看護婦・士一〇人とその親御さん八人が出席して、「内定者のつどい&ご家族様の病院見学会」を行いました。民医連・健友会・入職後のことについて話されると、みんな真剣な表情で聞き入っていました。

「健友会の職員になり、がんばりたい」と笑顔で話していました。



高齢者多田在宅サービスセンター 1日体験記

オープンしたばかりの「多田高齢者在宅サービスセンター」に、二月三日、一日体験に行っていました。



このスタッフは所長のほか、専任看護婦二人、ヘルパー一七人。掃除、お茶の用意とかいがいしく動き回ったあと、ミーティングをして一日がスタートします。

二年前に郷里の鹿児島から上京し、娘さんと二人暮らしをしている佐多さんは、川島診療所ですすめられてセンターに通うようになりました。

二月二日(水)の午後、杉並公会堂で第一回健康友会医療活動・運動交流集会が開かれました。

のとりくみの発表が多かったことが今回の特徴といえます。ともすれば毎日の業務に忙殺されることが多い中で、他院所や事業所のさまざまな活動の一端を知ることができ、こつした交流集会の意義が確認されました。

外来・在宅の分析がめだつ 第一回健康友会医療・運動交流集会で

全院所・事業所から一五人の職員が参加、会場は大入り満員の盛況ぶりでした。昨年一月に各職種から選出した実行委員会を発足させ、準備を開始。当日は医療活動分野が七演題、地域・

まちづくり分野が六演題、計一三演題が発表されました。診療所移転後の新患の追跡、在宅患者の動向、新患外来患者の期待など、外来・在宅医療を分析した発表、医療ミス防止や感染防止

この会は、役員と世話人の合計四名で企画・運営しています。企画では、シルバーバスをなるべく使用できる路線などを考えたりして、毎月一回、四季折々の散策スポットを訪ね歩いていきます。

「一人暮らしの会 吾亦紅われも」 中野共立病院・診療所友の会 「一人でも楽しい。みんなで集まるともっと楽しい。」そんな思いをこめて、中野共立友の会では一人暮らしの方がどう会を昨年一月から開いています。

現在、登録している利用者は二三人ですが、一日の利用は多い日で九人、少ない日は三人とかなりばらつきがあるそうです。この日の利用者は四人で、車椅子用一台と普通用一台のバスが迎えに。私は車椅子の佐多キエさん(89)のお迎えについて行きました。

二年前に郷里の鹿児島から上京し、娘さんと二人暮らしをしている佐多さんは、川島診療所ですすめられてセンターに通うようになりました。

と語り、笑い、食べ、少しずつ元気になっていく気配が感じられ、センターの役割は大きいなと実感します。

と語り、笑い、食べ、少しずつ元気になっていく気配が感じられ、センターの役割は大きいなと実感します。

と語り、笑い、食べ、少しずつ元気になっていく気配が感じられ、センターの役割は大きいなと実感します。

と語り、笑い、食べ、少しずつ元気になっていく気配が感じられ、センターの役割は大きいなと実感します。

ボランティア活動が課題に 城西診療所友の会

城西診療所の会、新春のついでが二月十七日、桃園地域センターで開催されました。

大雪に見舞われながらも四六名が参加。踊りに歌、ハモ二力演奏など多彩な出し物もあり、降り積もる雪をしり目ににぎやかなひとときを過ごしました。

川島診療所は、現在、外装工事中。いままでの川島診療所の古くさい感じを一新し、大きくイメージアップした姿をお見せします。

黄色い診療所になります 川島診療所 川島診療所は、現在、外装工事中。いままでの川島診療所の古くさい感じを一新し、大きくイメージアップした姿をお見せします。

ゆったり流れる時間、語らい、笑い、食べ、少しずつ元気に

小学生との交流も期待できる

と語り、笑い、食べ、少しずつ元気になっていく気配が感じられ、センターの役割は大きいなと実感します。

と語り、笑い、食べ、少しずつ元気になっていく気配が感じられ、センターの役割は大きいなと実感します。

と語り、笑い、食べ、少しずつ元気になっていく気配が感じられ、センターの役割は大きいなと実感します。

紹介 青葉調剤薬局の巻

青葉調剤薬局は一九八三年に旧中野勤医協から独立。保険薬局として出発しました。四年前に増改築し、現在に至っています。

が、青葉調剤薬局では以前から、薬の安全性・有効性を追求する活動をしています。

薬の安全性、薬害根絶をめぐって 安心してかかれる薬局へ

最近、薬の安全性が騒がれています。た時、薬との因果関係を調べ、二度と同じ副作用をおこさないようチェックしています。



ゴルフゲーム、輪投げゲームなど。ほかに風船ゲームをしたり、歌をうたったり... 温熱療法をしているうちに気持ちよさそうに眠ってしまったり、しびしびとはじめたゲームでは意外にも夢中になったり、ゆったりと流れる時間の中でスタッフ

と語り、笑い、食べ、少しずつ元気になっていく気配が感じられ、センターの役割は大きいなと実感します。

と語り、笑い、食べ、少しずつ元気になっていく気配が感じられ、センターの役割は大きいなと実感します。

と語り、笑い、食べ、少しずつ元気になっていく気配が感じられ、センターの役割は大きいなと実感します。

安心してかかれる薬局へ

最近、薬の安全性が騒がれています。た時、薬との因果関係を調べ、二度と同じ副作用をおこさないようチェックしています。

薬の安全性、薬害根絶をめぐって 安心してかかれる薬局へ

最近、薬の安全性が騒がれています。た時、薬との因果関係を調べ、二度と同じ副作用をおこさないようチェックしています。

薬の安全性、薬害根絶をめぐって 安心してかかれる薬局へ

随筆

「イサム野口」をこ

父親が日本人(野口

イサム野口氏のこと

城西診友の会 大竹三千子

また、岐阜提灯から

また、岐阜提灯から

ります。そのころ、イ

花屋さんでの会話

杉並区宮前4丁目

加藤アヤ(63)

花を見まわしているよ

短歌

中野区弥生町

原 志恵(77)

七十路の「寿」掬いて

は成功したと思ひ、な



読者のひろば

に、パンジーの鉢を

花をもらっておこる

「がんばらない」

中野区中野3丁目

中野共立病院の大山

これは、長野の諏訪

小2でかけ算!

やまと診療所事務長

中園紳一郎

いまの小学生は、自

中国の高僧・鑑真展に思う

中野区上高田1丁目

小池賢次郎(65)

上野の森で、鑑真和

「健友けんゆう」の創刊によせて

桃井診療所事務長

加藤 秀大

診療所独自で新聞を

沼診50年の歴史、地域の声が...

沼診友の会副会長

大賀 敏良

沼診の「新春のつど

ドクターの素顔

新宿生まれ新宿育

ちの少女が、高校を

専門は循環器だが、ならなんでもOK

西荻窪診療所 辻恵美子医師(39)



海道とが...

医学の道を選んだ

内科

代々木病院から東

葛病院(千葉県)を

経て一九九五年、西

しくなれたかなあ...